

九条だより

第144号

北広島九条の会 2019・12・01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.org

11月例会

*最近の日韓関係、どうしてこのような事態になったのか、その歴史的な経過にも触れて高崎暢弁護士がお話されました。

解決の道 韓国政府と話し合いのテーブルにつくこと

『徴用工』問題では語られない『不都合な真実』—朝鮮植民地支配の歴史と実態—

11月16日に、弁護士の高崎暢(たかさき とおる)さんをお招きしました。

いま、日韓関係の悪化が問題となっており、その根底に徴用工問題があります。安倍政権は日韓請求権協定(1965年締結)では国家間は解決済みとして、韓国政府の対応へ批判を強めメディアも嫌韓を煽っています。

最初に高崎さんは、この10月14日に「3.1事件100周年ツアー」で韓国を訪問した際、韓国の人たちが決して「No! Japan」ではなく「No! Abe」であることを実感したと話されました。韓国の日本大使館前で毎週水曜日に行われている『水曜集会』にも参加し、「ナムムの家(日本軍「慰安婦」たちが暮らす)」を訪問した時に日本軍「慰安婦」だった方から「なぜ安倍はまだ政権にいるのか」と問いかけられたといいます。

続いて高崎さんは、そもそも日韓請求権協定で決められた5億ドルの供与は現金で韓国に支払われたのではなく、徴用工の人たちへの賠償も含まれていない、と指摘します。そして個人の請求権は消滅していないことはかつて日本政府も国会の答弁

(1991年外務省柳井条約局長)で認めていたといいます。それが2000年前後から、手のひらを返したように「解決済み」と言い出してきました。その時期は日本軍「慰安婦」の日本の裁判所への提訴が軒並み「その事実は認めつつも日本の国内法での請求が不可能」となり、同時に「時効」や「国家無答責」などの争点について日本政府に不利な判断が出るようになったことに起因しています。

ことしの8月15日、韓国の「光復節」で文在寅(ムンジェイン)大統領は、「日清、日露、満州事変と、日中戦争、太平洋戦争にいたるまで、60年以上にわたる長い戦争が終わった。」とよびかけましたが、日本政府はだんまりを決め込みました。

1910年、日本政府は脅迫して韓国併合条約を押しつけ植民地化して以来36年に渡って抑圧してきました。朝鮮総督府を設置して専制政治を行い、朝鮮の人たちを無権利状態に置き、憲兵警察で弾圧しました。さらに「皇民化」政策のもとで、天皇崇拜・神社参拝・日本語を強制し、創氏改名や徴兵・徴用を強制しました。

高崎さんは、こうした事実きちんと向き合い、日本政府は韓国の人たちを工場や戦場に強制動員した歴史を認めて、徴用工の人たちの尊厳回復と賠償を行うべきだと

いいます。日韓関係改善への解決への道は「日本がまず加害の事実を認めること」、そして「話し合いのテーブルにつくこと」とお話をされました。

最後に高崎さんはドイツの「記憶・責任・未来」基金について触れます。ドイツは違法性は認めていないものの、その事実に真摯に向き合い戦後補償、賠償を行っている、といいます。ドイツのヴァイツゼッカー大統領の言葉「過去に目を閉ざす者は、未来にたいしてもやはり盲目となる」を紹介し、「諦めず声をあげていこう」と呼びかけました。

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

10月10日、九条の会（中央）が異例の声明 「改憲発議強行を草の根からの運動で阻もう」

安倍自民党がねらうのは、改憲発議の第一歩として憲法審査会において何が何でも自民党改憲案を提示し、その審議に入ることです。そのため、自民党は、改憲手続法改正審議と並行して改憲案の提示を行おうとするなど、なりふり構わぬ形で議論に入ろうとしています。臨時国会で改憲案を提示して来年通常国会で発議強行、というスケジュールを描いているからです。（略）

韓国との対立を煽る一方で、朝鮮・中国の脅威を口実にして自衛隊の海外での武力行使を目指す9条改憲に執心する安倍政権の態度は、朝鮮半島の非核化、東北アジアの平和構築の方向に真っ向から逆行する極めて危険な策動です。安倍改憲を阻むことは、アジアと世界の人々に対する日本国民の責務となっています。

改憲の新たな局面を迎えたいま、まず必要なことは、こうした安倍改憲の狙いと危険性を市民が共有することです。「安倍政権下の改憲」には反対の声は多数ですが、自衛隊を憲法に明記する9条改憲の危険性は、まだまだ市民の中には浸透していません。（略）先の参院選で3分の2を割らせた、3000万署名をはじめとする市民の運動に確信を持ち、改めて、署名、集会、スタンディング、ネットでの配信、など草の根からの運動をさらに幅広く大きなものにしましょう。草の根からの市民の声で安倍改憲を包囲し、阻止しましょう。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎市民の風・北海道が創立4周年で記念講演会を行います。

12月6日（金） 午後6時半 エルプラザ2階環境研修室（JR札幌駅北口）

<講師> 佐々木寛さん 市民連合@新潟共同代表 新潟国際情報大学教授

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎2020年成人式宣伝 1月12日（日） 午後2時半 芸術文化ホール前

◎「9の日宣伝」は12月、1月、2月はお休みします。

市民連合北広島主催「19の日宣伝」は、実施します。午後2時、JR駅西口。

◎「原発といのちを考える市民の会」が講演会を行います。

2020年1月25日（土） 午後2時～ 市役所1階 多目的室4

お話 宮尾 正大 室蘭工大名誉教授 「最近の原発をめぐる動き」

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝える「バトンタッチ」第8集を刊行。13名の市民の方の玉稿と「旧陸軍北広島通信所シンポジウム」の記録を掲載。頒価300円。

◎募金のお願い 当会は会員制をとっていません。会の活動は皆さんの浄財が頼りです。

是非ご協力を。

郵便振込み口座・北広島九条の会

02790-9-65384